

あなたの行動が、誰かの安心につながる

組合員25万人全員で「見守り運動」を！

生保労連が推進する「地域の安全を見守る運動（見守り運動）」は、地域社会のセーフティネットを強化する大切な取り組みです。



なぜ今、「見守り運動」が必要なの？

現代社会では、核家族化や地域のつながりの希薄化が進み、高齢者の一人暮らしや子育て家庭の孤立が社会問題となっています。また、自然災害の頻発や、詐欺などの犯罪も増加しており、誰もが安心して暮らせる社会の実現が強く望まれています。そんな中、地域に根差した活動を行う私たちへ強い期待が集まっているのです。

生保労連は、この「見守り運動」を、生保業界で働く私たちだからこそ取り組める、最も身近な社会貢献の一つであると考えており、

「生保業界」＝「見守り運動」という社会的なイメージ作りにつとめたいと考えています。

取り組むにはどうしたらいいの？

「見守り運動」に特別な資格や専門知識は必要ありません。必要なのは、「誰かの役に立ちたい」というあなたの温かい気持ちです。

私たちの普段の生活の中で、少しでも周りに目を向け、困っている人がいないか、異変がないかを確認する意識を持つことが始まりです。例えば、

- ◎近所の高齢者の様子を気にかける
- ◎通学路の子どもたちの安全に配慮する
- ◎通勤やお客さま訪問の際に、いつもと違う状況に気づく

など、これらのさりげない目配り・気配り・心配りが、悲しい出来事を未然に防ぐことにつながります。



組合員みなさんが日々の業務や生活の中で培ってきた「人とのつながり」や「気づき」は、地域社会にとってかけがえのない財産となります。ぜひ「見守り運動」にご理解とご協力をお願いします。

必要な連絡先を記載して携行できる
見守りカードを順次配布しています。



※一部の組合では独自のカードをご利用いただいています。



具体的な
取り組み方法を
分かりやすく
まとめたチラシを
作成していますので
ご活用ください。

